

眠るように死んで、まだきれいなうちに下宿人に見つかるというのが
月光荘の大家、雪子さんの理想の最後だった。

浜野佐知監督 最新作！！ 『雪子さんの足音』

老女たちの欲望を生き生きと描いた映画『百合祭』の吉行和子×浜野佐知のコンビが、作家・木村紅美の「雪子さんの足音」（講談社刊）という原作を得て、食事の「出前」や「ぼち袋」など、下宿人に過剰な親切をする大家さんの、実は得体の知れない謎を描きます。

吉行和子＝川島雪子（月光荘の大家）



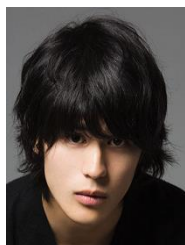
「第七官界彷徨－尾崎翠を探して」「百合祭」「こほろぎ嬢」「百合子、ダスヴィダーニヤ」に連続出演。浜野作品にとっては無くてはならない存在感を放つ。

葉葉菜＝小野田香織（月光荘の下宿人）



「百合子、ダスヴィダーニヤ」では100年前の日本で「女を愛する女」であることを隠さずに生きたロシア文学者・湯浅芳子とその静謐な美しさで見事に演じた。

寛一郎＝湯佐 薫（月光荘の下宿人）



その自然体の演技と佇まいは、今作の語り手となる“薫”にぴったりとはまる。祖父に三國連太郎、父に佐藤浩市を持つ大型新人。

大方斐紗子＝高梨秋江（喫茶店店主）



「百合祭」「こほろぎ嬢」「百合子、ダスヴィダーニヤ」に出演。祖母役が多かったが、今作では新たな大方さんの魅力に迫る。

野村万蔵＝川島良雄（雪子さんの息子）



狂言師。野村万蔵家九代目当主。「第七官界彷徨－尾崎翠を探して」で分裂心理学者・小野一助を知的でコミカルなキャラクターで演じた。

宝井誠明＝市岡 誠（薫の同僚）



「第七官界彷徨－尾崎翠を探して」で佐田三五郎、「こほろぎ嬢」で土田九作を演じ、透明感のある不思議な魅力で尾崎翠ワールドを体現。

木村紅美＝原作



(撮影：森清)

群れずに生きる女性たちの孤独を描いて来た実力派作家。「雪子さんの足音」は2017年度の芥川賞候補にもなり、読書界に静かなセンセーションを巻き起こしている。

浜野佐知＝監督



「とんでもない婆さんの役を演りたいわ」という吉行和子さんの一言から、今回の企画が動き出した。一般映画6作目となる今作に監督人生を賭ける意気込みで臨む。